



むびょうニュース

梅雨入りすると、多湿な時期となり、カビによるアレルギーが問題になってきます。対策は、カビを体に入れさせないことです！カビは粘膜を通して、体に侵入します。これを防ぐためには、腸の環境を整え、体中の粘膜を強化することが大切です。

「なんとなく」の習慣が「なんとなく」の不調を生む

「なんとなく」好きだから、毎日食べているものはありますか？朝はパンに決まっているとか、仕事中はずっとコーヒーを飲んでいるとか…。知らず知らず習慣化している【食】が思い当たらないでしょうか。カフェオレを1日5杯も飲む人は牛乳が。お菓子を毎日食べている人は砂糖や小麦が。毎食ゆで卵（卵白）を食べている人は卵白アレルギーになってしまう可能性があります。「毎日のように食べていたものがアレルギーだったなんてショック！」というケースが多いのは、残念ながら現実です。一つの食物を過剰に摂取したことで、それが「アレルギー」になる。アレルギーだとは思わない為、食べる食生活は続きます。そして気が付かないうちに毎日のようにアレルギーが体内に入ってきます。その結果、カラダはずっとアレルギーの原因にさらされている状態になってしまうのです。また、アレルギー反応の強弱にも個人差はありますが、どの年代にも共通してアレルギー反応が出やすい食物があることがわかってきました。年齢に関わらず「アレルギー反応トップ5」に必ず入っている食物は、卵（卵白・卵黄）、牛乳、ヨーグルト、カゼイン（乳製品に含まれるたんぱく質）、チーズの5品目です。いろいろな形で「卵と乳製品」を多くとっている方が年代を問わず多いということです。「卵が好きで1日3~4個食べています」「健康の為に毎朝、必ずヨーグルトは欠かしません。銘柄も決めています」「晩御飯にはワインとチーズが習慣なので」。意識して食べている方もいれば、無意識に食べてしまっている方もいると思います。また、卵と乳製品は「健康に良い」というイメージがあり、料理にも使いやすいことから、家庭の冷蔵庫に常備されている食物だと言えます。また、多くの世代でトップ10までに入っているのが「製パン用イースト」です。日本人の多くが遅発型アレルギーを起こしやすい食物は、「卵・乳製品・製パンイースト」の三つだと言えます。1960年前後、国民を強くするために日本政府が奨励したパン、動物性タンパク質・乳製品が、遅発型フードアレルギーの大きな原因になっているとはなんとも皮肉なものです。

症状はあるのに、病院に行っても治らない。薬をもらって対処しているけれど、頻繁に症状が出る。いくつもの専門医を訪れ、検査を繰り返したが原因がよくわからない。ひと昔前ならば、「病院に行っても治らないなんて、診てもらった医師が悪かった！」と思ったかもしれません。でも今は違います。医師でも原因がわからず、とりあえず飲み薬や塗り薬などの対症療法で症状を抑えるしかできない「病」や「症状」が年々増えているのです。医療の分野はものすごいスピードで日進月歩しています。薬や治療で症状を抑えるだけでなく、根本治療するための研究や、予防のための研究も進んでいます。それでもまた、「病院に行っても治らない」「対症療法しか選択肢がない」「原因がわからない」ものがたくさんあるのです。これらの疾患が急増がしている背景には、必ず「食」が関わっています。私たちが慣れきってしまった手軽な「食習慣」が「今すぐ命には関わらないけれどいつまでも辛い不調」という疾患をもたらしているのです。



セイエイ特醸1200ml
本体価格6,500円+消費税

お待たせいたしました。5月21日から7月末まで発売いたします！特醸酵素は10月頃から仕込み始め、およそ半年間でその季節にしか採れない旬の食材を使用！春に摂れる新芽の民間植物も入っています。清潔でしっかりと管理された大和酵素のGMP認定工場です。安心安全な国内産の野菜・果物・キノコ類・海藻・民間植物を黒糖・ブドウ糖・麦芽糖・オリゴ糖などミネラル分たっぷりの糖を使っています！また、大和酵素の「もと醗」は麹菌や植物性乳酸菌、酵母などたくさんの菌を複合して醗酵させます。この時期だけの期間限定販売です。